

# コスモ石油株式会社

## 経営戦略

2003年5月21日  
代表取締役会長兼社長  
岡部 敬一郎

# 目次

## 「価値創造21」(01年度～02年度)

1. 総括
2. 有利子負債削減実績

## 「連結中期経営計画」(03年度～05年度)

3. 計画概要
4. 03年度合理化/価値創造目標金額
5. 環境規制と設備過剰問題への対応
6. 軽油環境規制への対応
7. 販売戦略
  - ①直営・販売子会社強化
  - ②直営・販売子会社強化策
  - ③Auto B-Cle
  - ④セルフSSへの投資
  - ⑤コスモ・ザ・カード
8. 添付資料 「価値創造21」部門別実績
9. 添付資料 企業倫理に関する取り組み強化について

# 1. 「価値創造21」(01~02年度) 総括

1

## ●「価値創造21」実績

02年度 計画175億円 実績160億円 (達成率91%)  
 01-02年度 計画500億円 実績430億円 (達成率86%)

	2001 年度 実績	2002年度							b	a	b/a
		上期 実績	見通し	下期 実績	達成率	見通し	年度計 実績	達成率	00年度 比 02年度	当初 計画	達成率
合理化	70	19	23	23	100%	42	42	100%	112	142	79%
価値創造	81	44	89	74	83%	133	118	89%	199	237	84%
合計	151	63	112	97	87%	175	160	91%	311	380	82%
合計(平年ベース)	151	82	148	129	87%	230	211	92%	362	435	83%
子会社業績	20	6	7	7		13	13	100%	33	30	110%
前期前倒し									35	35	-
再計	171	88	155	136	88%	243	224	92%	430	500	86%

※上段の合計はPL算入金額ベース、下段の合計(平年ベース)は平年の仕上がりベース

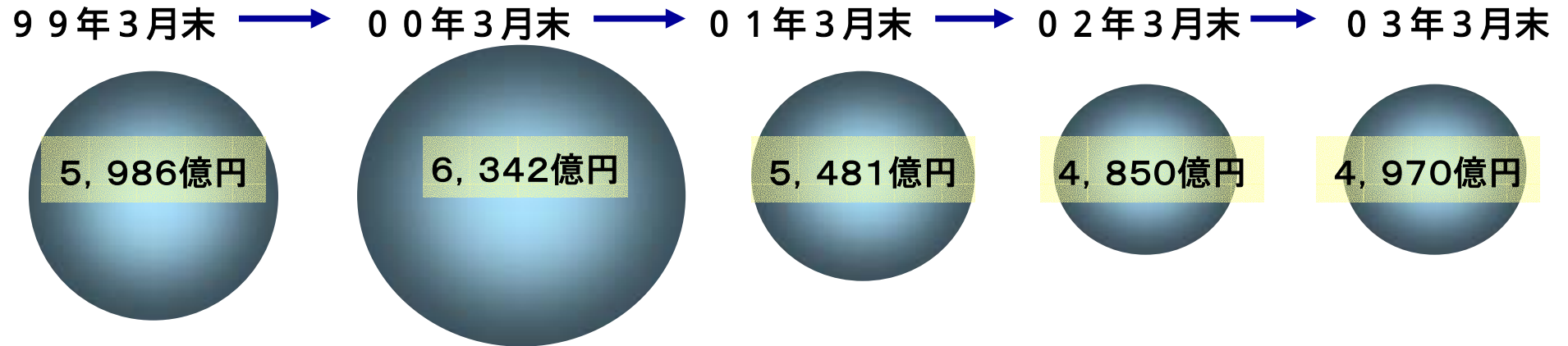
※見通しは前回(02年11月20日)の決算説明会での発表値

部門別の明細については、添付資料をご覧ください

All Right Reserved. Copyright © 2003 ,COSMO OIL CO.,LTD.

## 2. 「価値創造21」(01~02年度) 有利子負債削減実績

2



### 資産流動化実績

(単位：億円)

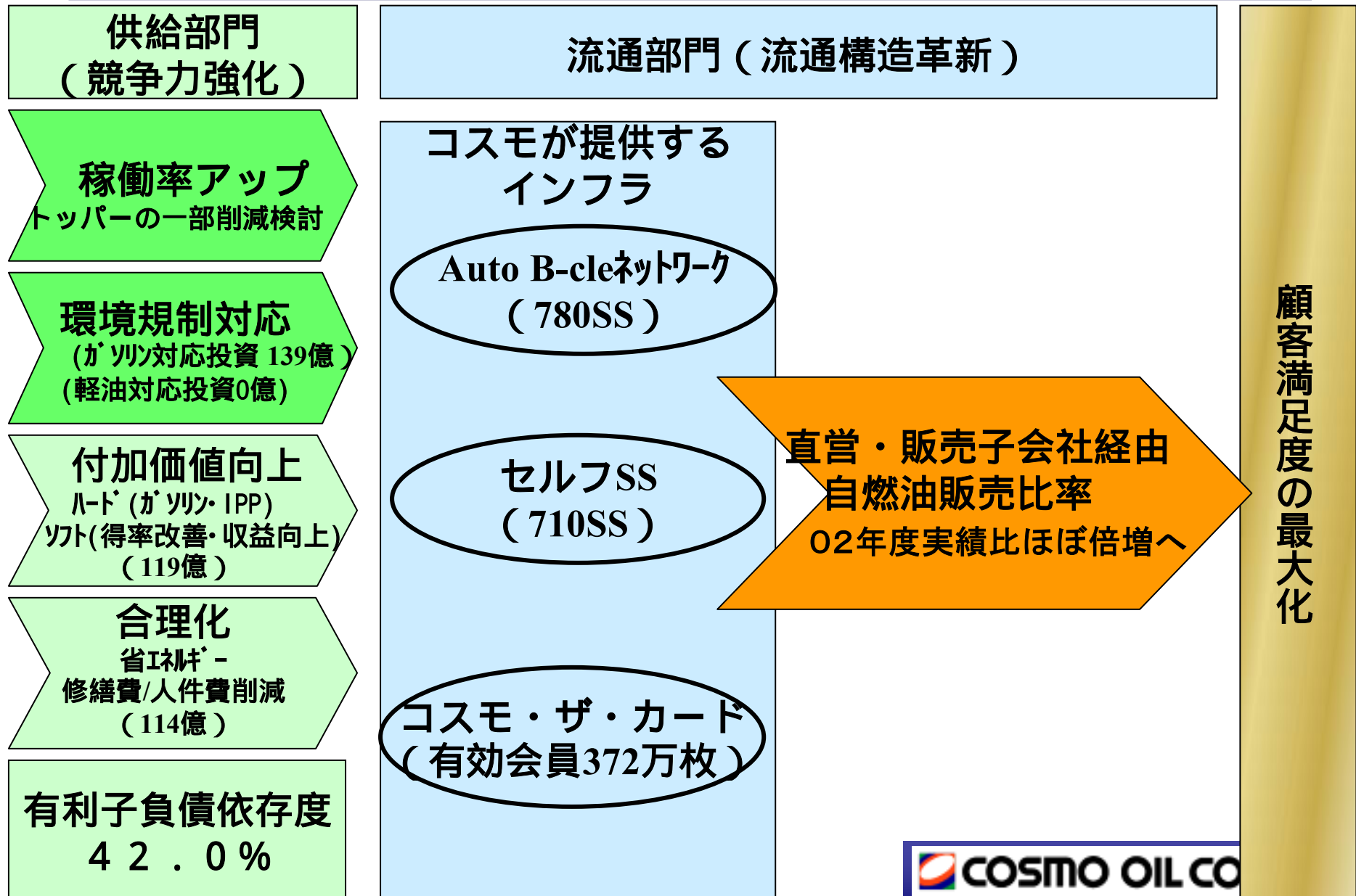
内容	99-02年実績
売掛債権サイト短縮	200
売掛債権流動化	360
SS証券化	336
有価証券処分	150
社宅売却	100
閉鎖DT/SS等遊休地売却	420
累計実績	1,570

当初目標:2,000億円

目標との差異 約430億円

### 3. 「連結中期経営計画」(03~05年度) 計画概要

3



#### 4. 「連結中期経営計画」(03~05年度) 03年度合理化/価値創造目標金額

4

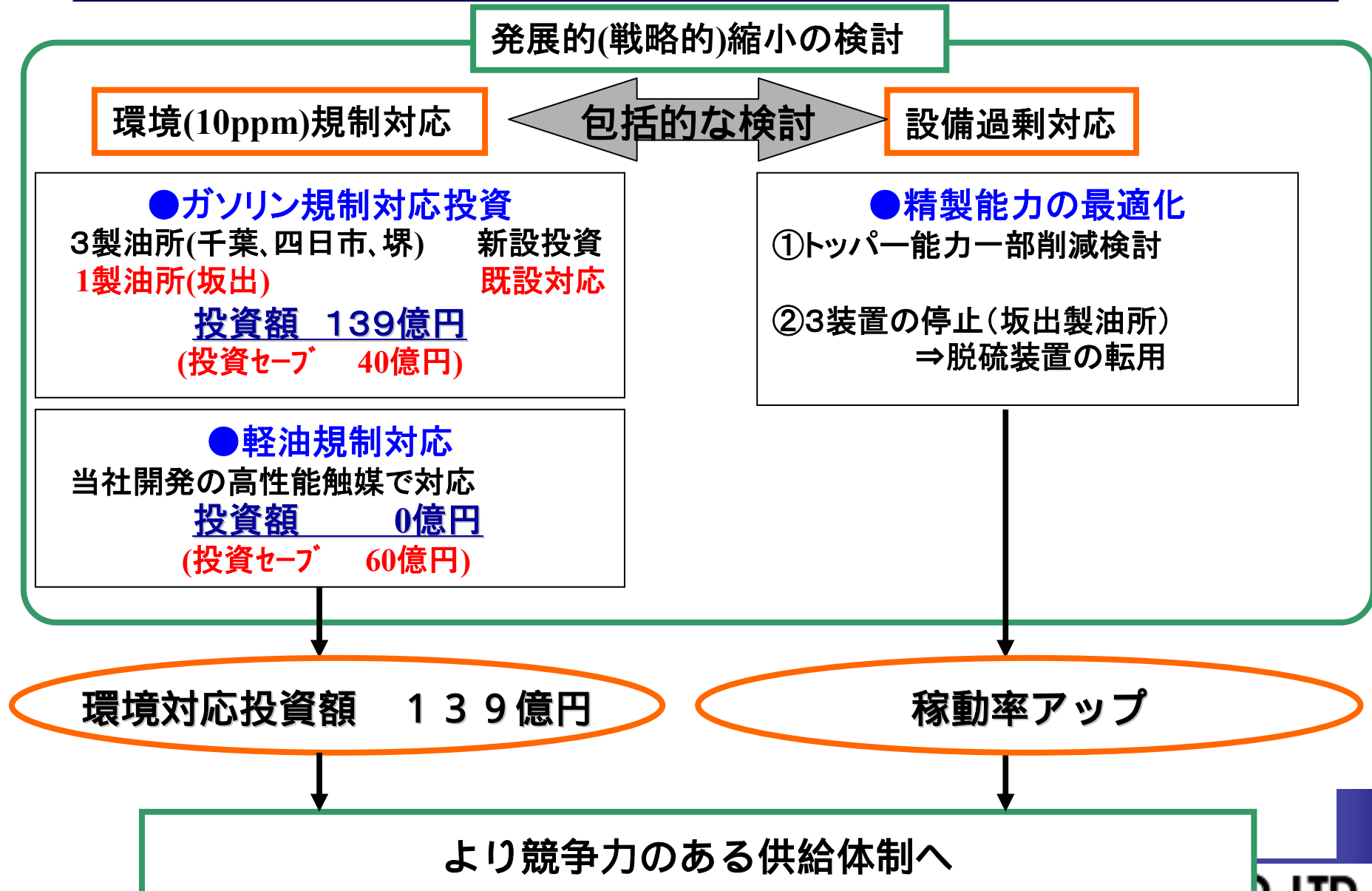
			目標金額 (年度計)
石油本体	合理化	供給	36
		販売	11
		物流	4
		管理他	21
	小計		72
	価値創造	供給	17
		販売	40
		新規事業他	14
	小計		70
	石油単体合計		
石油開発	収益改善額	30	
その他の関連会社	収益改善額	30	
連結ベース総計			202

実行計画		
上期	下期	年度計
20	17	36
1	10	11
0	3	4
10	11	21
31	41	72
7	10	17
18	22	40
4	9	14
29	41	70
60	82	142
-	-	13
-	-	19
		174

※目標金額は新中期経営計画説明会(2月28日実施)での公表値

## 5. 「連結中期経営計画」(03~05年度) 環境規制と設備過剰問題への対応

5



## 6. 「連結中期経営計画」(03~05年度) 軽油環境規制への対応

6

●軽油の環境規制 ⇒ 新開発の当社触媒で対応

当社触媒

圧倒的な脱硫能力により  
新規の設備投資は不要

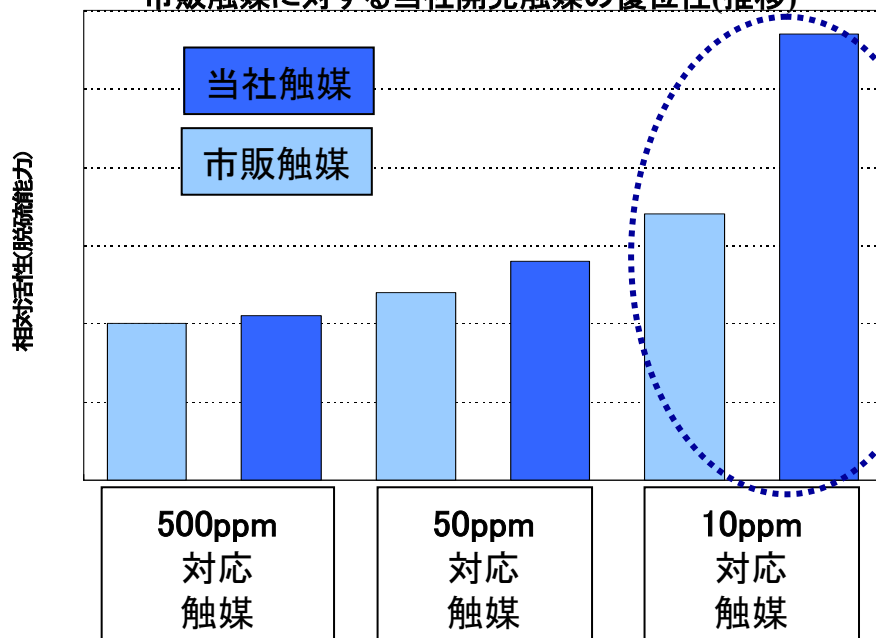
※当社は、NEDO/PECの補助を受け触媒を開発  
比較データはラボスケール結果より

市販触媒

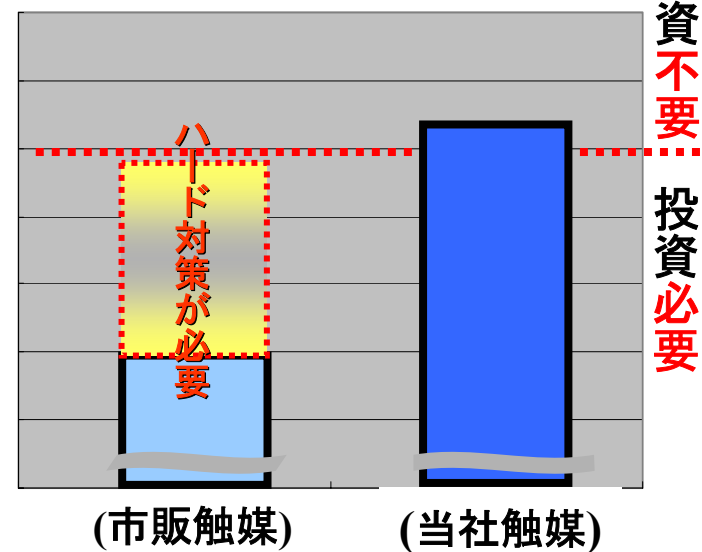
新規の設備投資が必要

- 新規脱硫装置の新設
- 既設脱硫装置の増強

市販触媒に対する当社開発触媒の優位性(推移)



触媒活性比較





## 7. 「連結中期経営計画」(03~05年度) 販売戦略①直営・販売子会社強化

7

### ●直営・販売子会社の構成比を02年度実績比ほぼ倍増へ

当社自燃油の総販売量に占める直営・販売子会社経由の販売数量増を目指す

#### セルフSS中心の投資

直営・子会社運営セルフ 265SS

直営・販売子会社運営の600SSのAuto B-Cle ネットワークを構築

お客様の「セルフSS」へのニーズ

#### 直営の強み

運営ノウハウ・コンセプトを全直営・子会社SSへ展開  
当社スーパーバイザーの投入により、店頭改善活動

収益改善とブランド価値の向上

特約店への展開 当社ノウハウを特約店へも紹介し、収益改善に役立

販売子会社：コスモグループ連結子会社特約店

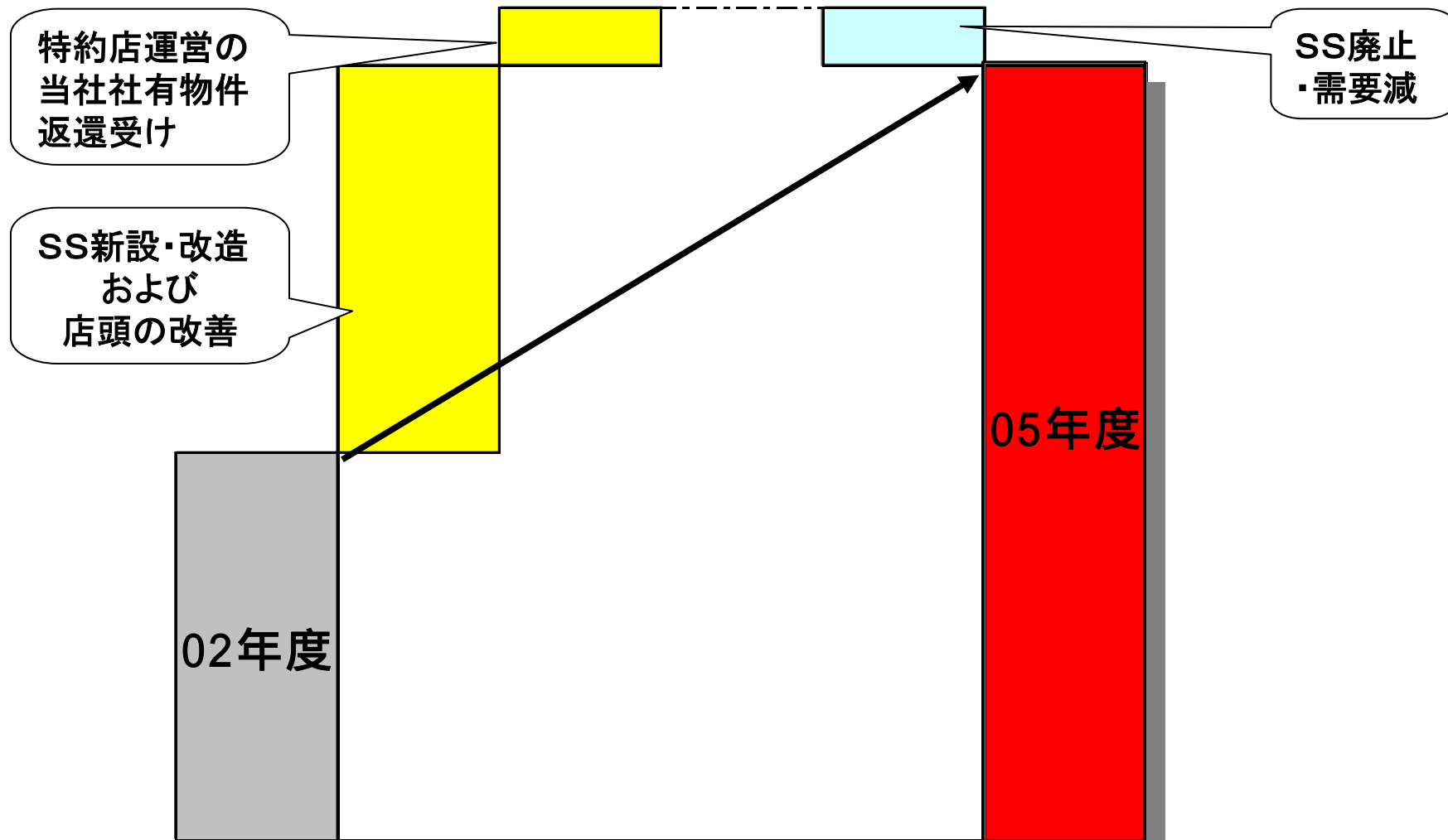
All Right Reserved. Copyright © 2003 ,COSMO OIL CO.,LTD.

 COSMO OIL CO., LTD.

<http://www.cosmo-oil.co.jp>

# 7. 「連結中期経営計画」(03~05年度) 販売戦略②直営・販売子会社強化策

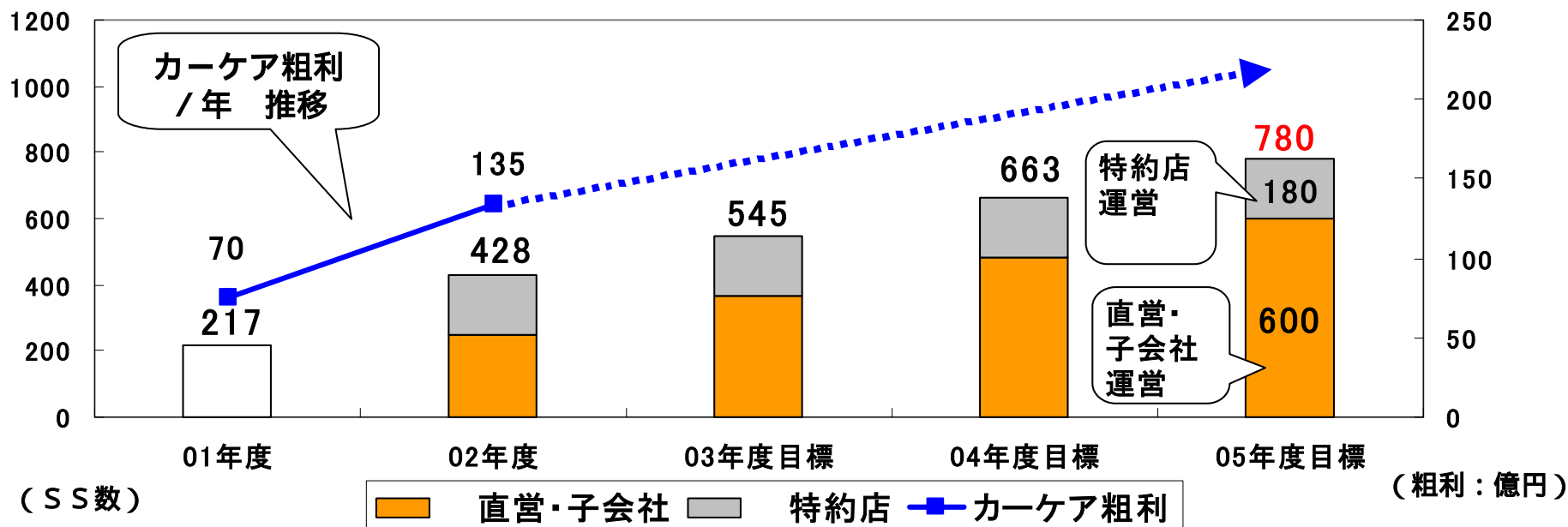
## 販売構成比 アップのための実行策



## 7. 「連結中期経営計画」(03~05年度) 販売戦略③Auto B-Cle

9

### ●顧客満足度の向上—Auto B-Cleネットワークの構築 お客様のカーライフソリューションの実現と収益の向上

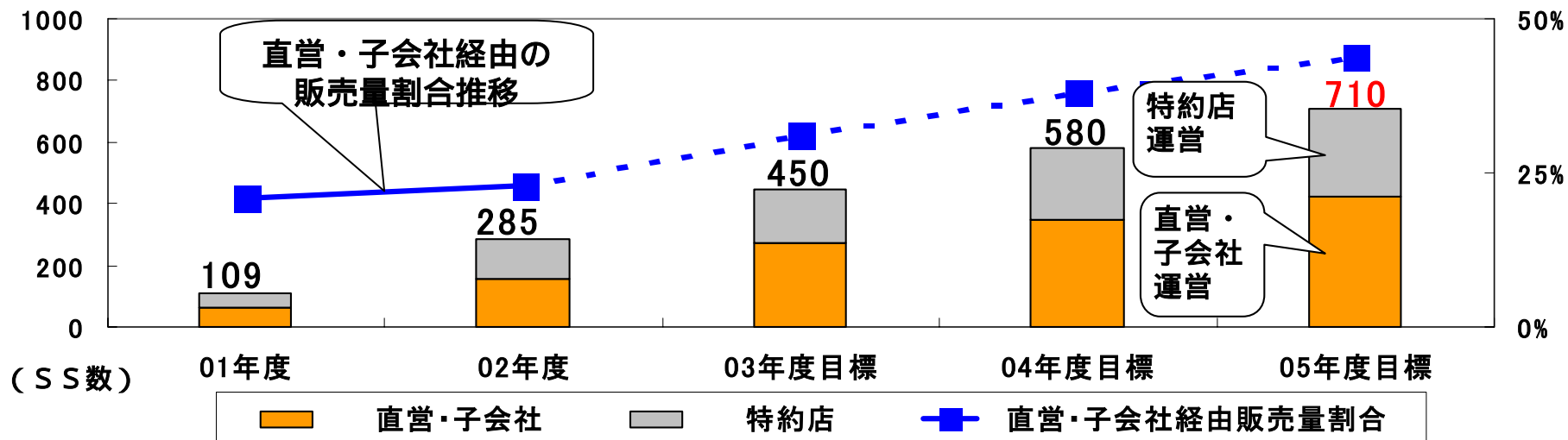


### Auto B-Cleの優位性

		直営B-Cle	一般SS
自燃油数量	(KL/月)	245	107
カーケア粗利	(千円/月)	2,742	1,597
ザ・カード比率	(%)	41%	21%

 COSMO OIL CO., LTD.

**●顧客満足度の向上ーセルフ化の推進**  
**セルフSSは直営・販売子会社に重点的に投資(147億円)**



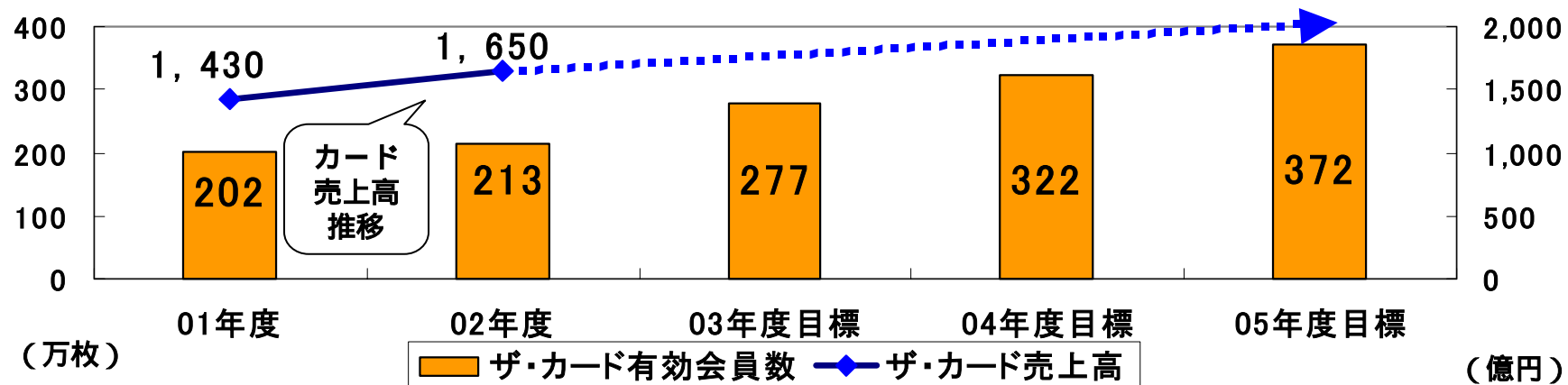
特約店自己投資のセルフ化のSS数は上記に含まず  
 (新設用地候補は既に約50件あり、条件交渉中)

**当社セルフの優位性**

項目	単位	セルフ	一般SS
自燃油数量	(KL/月)	420	107
ザ・カード販売比率	(%)	49%	21%



●顧客満足度の向上ーコスモ・ザ・カードを軸とした業態確立  
セルフSS・Auto B-Cle を支える重要なインフラ



コスモ・ザ・カードの優位性

	コスモ・ザ・カード「エコ」	コスモ・ザ・カード	現金会員
自燃購入数量(L/月)	109.5	100.3	55.8
ハイオク・レシオ(%)	31.8	22.4	17.9
付加価値(円/L)	18.1	11.0	7.2

即時発券	・当社独自のハウスカード。与信審査を簡素化、即時発券対応 無人発券機「Quick Box」を開発。 仮カードによる即時発券を行うスキーム(「Quick Box」の利用含む)について ビジネスモデル特許を出願中
マイレージ	ハウスカードの特性を生かしたマイレージ制度

## 8 . 【添付資料】「価値創造21」(01~02年度) 部門別実績

12

	部門	2001 年度 実績	2002年度						b 00年度 比 02年度	a 当初 計画	b/a 達成率
			上期 実績	下期		年度計					
				見通し	実績	見通し	実績	達成率			
合理化	供給	10	8	15	13	23	21	91%	31	49	63%
	販売	10	5	4	3	9	8	89%	18	20	90%
	物流	40	4	1	4	5	8	160%	48	52	92%
	管理他	10	2	3	3	5	5	100%	15	21	71%
	小計	70	19	23	23	42	42	100%	112	142	79%
価値創造	供給	21	11	15	15	26	26	100%	47	39	121%
	販売	60	33	74	59	107	92	86%	152	198	77%
	小計	81	44	89	74	133	118	89%	199	237	84%
小計		151	63	112	97	175	160	91%	311	380	82%
合計(平年ベース)		151	82	148	129	230	211	92%	362	435	83%
子会社業績		20	6	7	7	13	13	100%	33	30	110%
前期前倒し分									35	35	100%
合計		171	88	155	136	243	224	92%	430	500	86%

### <取組みの背景>

昨今、経済界において企業行動の公正さ(企業倫理・コンプライアンス)が厳しく問われる様々な問題が発生し、社会の不信感・批判が高まっております。

当社としまして、企業活動において**企業倫理・コンプライアンスへの取組みを更に強化**するため、以下のとおりの対応を取っております。



### <取組み内容>

- 1)「コスモ石油グループ経営理念」を企業倫理・コンプライアンスの観点から具体化し、職務を遂行する際の行動指針とするため、従来からの社内関連規程及びマニュアル等の上位基本法として「**コスモ石油グループ企業倫理規程(企業行動指針)**」を制定。
- 2)上記企業倫理規程(企業行動指針)を推進・実施・監査する組織としてコスモ石油社長を委員長とする「**コスモ石油グループ企業倫理委員会**」を設置。
- 3)また同委員会の運営を補佐するため「**コスモ石油グループ企業倫理推進室**」を設け、併せて「**コスモ石油グループ倫理相談窓口(ヘルプライン)**」を当該推進室に設置。

## 見通しに関する注意事項

### 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。